

(2011年度)

5 世界史問題 (60分)

(この問題冊子は24ページ，4問である。)

受験についての注意

1. 監督の指示があるまで，問題冊子を開いてはならない。
2. 携帯電話・PHSの電源は切ること。
3. 試験開始前に，監督から指示があったら，解答用紙の右上の番号が自分の受験番号かどうかを確認し，氏名を記入すること。次に，解答用紙の右側のミシン目にそって，きれいに折り曲げてから，受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し，机の上に置くこと。
4. 監督から試験開始の合図があったら，この問題冊子が，上に記したページ数どおりそろっているかどうか確かめること。
5. 解答は解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで，そのマーク欄をぬりつぶすこと。その他の部分には何も書いてはならない。
6. 筆記具は，HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能，計算機能，辞書機能などを使用してはならない。
7. マークをするとき，枠からはみ出したり，枠のなかに白い部分を残したり，文字や番号，枠などに○や×をつけたりしてはならない。
8. 訂正する場合は，消しゴムでていねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
9. 解答用紙を折り曲げたり，破ったりしてはならない。採点が不可能になる。
10. 試験時間中に退場してはならない。
11. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
12. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

1

次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

16世紀前半以降、北インドからイラン、さらにその西方には三大イスラーム帝国が鼎立し、これらの地方は繁栄を極めた。

最も西方のオスマン帝国は、すでに13世紀の末年にオスマン1世によって建国されていた。この帝国は1402年にティムールに敗れてバヤジット1世が捕われるなどして衰退の危機を迎えたが、そうした危機を乗り越えて復活し、1453年には(1)がコンスタンティノープルを攻略してビザンツ帝国を滅ぼし、この地に遷都してイスタンブルと改名するようになってからは、バルカン半島などへと拡大し、内政の基礎も固められた。

やがて、1501年にイランにイスラーム神秘主義教団の指導者であったイスマーイール1世によってサファヴィー朝が建国された。イスマーイール1世は(2)を国教としたために、スンニー派を信奉するオスマン帝国はこれに激しく反発して、両国の間で戦闘が行われるに至った。両国の戦闘は国境付近で繰り広げられ、アゼルバイジャン地方などがその戦場となったため、サファヴィー朝はその地方にあった最初の首都の(3)からの遷都を余儀なくされるほどであった。このように戦闘はオスマン帝国のほうが押し気味ではあったが、決定的な勝利を挙げるまでには至らなかった。

オスマン帝国はそれと並行してエジプトをも攻め、1517年にセリム1世は(4)を滅ぼした。そして、1520年に即位したスレイマン1世によって、中央集権体制が整えられ、オスマン帝国は最盛期を迎えた。西アジア、北アフリカ、バルカン半島を支配下に置き、彼の時代にオスマン帝国は最大版図を築くことになった。さらに、フランス王(5)と同盟を結び、西欧諸国を圧倒した。サファヴィー朝との間では対立関係は進んでいたが、サファヴィー朝国内ではその成立に貢献した(6)の内紛などもあって混乱していたが、何とか王朝を維持することができる状態であった。

一方、北インドにおいては、(7)系のロディー朝が統治していたが、中央アジアから来襲したバーブルによって、1526年に(8)でロディー朝は敗れて滅亡し、ムガル帝国が成立した。1556年に即位したムガル帝国の第3代皇帝アク

(4)

バルは、都を(9)に移し、ヒンドゥー教徒との和解に努め、ラージプート諸王国と融合し、1576年までに北インドを統一して、政治的にも文化的にも国内を安定させた。こうして、ムガル帝国は最盛期を迎えた。

こうした中で、混乱の続いていたサファヴィー朝では、1587年、アッバース1世が即位し、内紛を抑えるとともに軍政を改革してオスマン帝国からアゼルバイジャンとイラクの一部を奪回し、オスマン帝国との間に一時的な講和を成立させた。そして、1597年、イラン中部のイスファハーンに遷都した。ここは「世界の半分」と呼ばれたように、経済的、文化的にも繁栄し、サファヴィー朝は全盛期を迎えることとなった。さらに、アッバース1世はペルシア湾の入り口に位置し、16世紀初頭に(10)に占領されていたホルムズ島を1622年に奪回し、同島は交易面での重要な拠点の一つとなった。

以上のように、オスマン帝国、サファヴィー朝、ムガル帝国のいずれもが16世紀後半までには全盛期を迎え、政治的にも安定してきたので、交易面でも文化面でも繁栄した時代を迎えることとなった。交易面では東西交渉・南北交渉が活発に行われたし、文化面でも、スレイマン1世の建立したスレイマン＝モスク、アッバース1世によるイマームのモスク、17世紀中期にムガル帝国で建立されたタージ＝マハルがそれぞれの国家を代表する建造物である。

(7) しかし、18世紀に入るとこれらの三大国家にもかげりが見えてくる。それまで、事実上連戦連勝でバルカン半島からヨーロッパ中部への進出を図ってきたオスマン帝国は、17世紀末年、ほぼ初めての敗戦を喫し、その結果、1699年の(11)条約でハンガリーなどのオーストリアへの割譲を承認させられた。そして、これ以降、オスマン帝国の退潮は著しいものとなっていくのである。ムガル帝国では、1658年に即位した第6代皇帝アウラングゼーブが厳格なスンニー派を信奉し、シーア派やヒンドゥー教徒の弾圧とその寺院などの破壊を強行した。彼の時代にはムガル帝国最大の領土を獲得したが、ラージプート族、シク教徒、マラーター王国などの反抗を招き、アウラングゼーブ没後、国内は分裂状態に陥った。サファヴィー朝は無能な国王が続き、国力は次第に衰退していったが、1722年、突然(12)の攻撃によって首都イスファハーンが陥落して、サファヴィー朝は事実上滅亡した。その後、イランは内戦状態に入っていくことになった。

こうして、三大国家のいずれもが衰退したり滅亡したりしたため、この地域の政治的安定は崩れ、交易面でも文化面でも衰退してしまうことになった。このため、新しい時代である近代を迎えるまで、この地域は停滞してしまうのである。

設問

問1 空欄(1~12)に適切な語を選択肢(a~e)から1つずつ選びなさい。

- (1) a アブデュル=ハミト2世 b アブデュル=メジド1世
c メフメト2世 d ムスタファ2世 e ムラト2世
- (2) a イスマーイール派 b 十二イマーム派 c ドルーズ派
d ハワーリジュ派 e ワッハーブ派
- (3) a アレッポ b カーブル c タブリーズ d テヘラン
e ブハラ
- (4) a アイユーブ朝 b イドリース朝 c トゥールーン朝
d ファーティマ朝 e マムルーク朝
- (5) a アンリ4世 b シャルル8世 c シャルル9世
d フランソワ1世 e ルイ13世
- (6) a イェニチェリ b キジルバシュ c シパーヒー
d テイマール e ホージャ
- (7) a アフガン b イラン c クルド d トルコ
e モンゴル
- (8) a カーナティック戦争 b グルカ戦争
c パーニーパットの戦い d プラッシーの戦い
e マイソール戦争
- (9) a アグラ b カルカッタ c ゴア d デリー
e ボンベイ
- (10) a イギリス b オランダ c スペイン d フランス
e ポルトガル
- (11) a カルロヴィッツ b キュチュク=カイナルジ
c トルコマンチャーイ d パッサロヴィッツ e ベルリン

- (12) a アフガン人 b ウズベク人 c クルド人
d チベット人 e モンゴル人

問2 下線部(1)のこのときの戦いを何というか。選択肢(a～e)から適当なものを1つ選びなさい。

- a アンカラの戦い b コソヴォの戦い c ニコポリスの戦い
d ニハーヴァンドの戦い e モハーチの戦い

問3 下線部(2)のイスラーム神秘主義教団とはどのようなものか。選択肢(a～e)から適当なものを1つ選びなさい。

- a イスラーム勢力が団結して、外国からの侵略に対抗しようとする思想を持った集団。
b 神との合一を理想とし、奇蹟や聖者の崇拝を重視した。民衆を中心に強い影響力を持った集団。
c 中東イスラーム世界を中心に広がった、政治や文化をイスラームの根本原理に厳格に戻そうとした集団。
d ハーシム家に不満を持つ人々が作った集団で、ハーシム家のアリーがウマイヤ家と妥協的な態度をとったので、アリーを暗殺した。
e 非イスラーム勢力の拡大と彼らの強硬政策によって抑え込まれてきたイスラーム教徒たちによる熱烈なイスラーム復興運動を推進した集団。

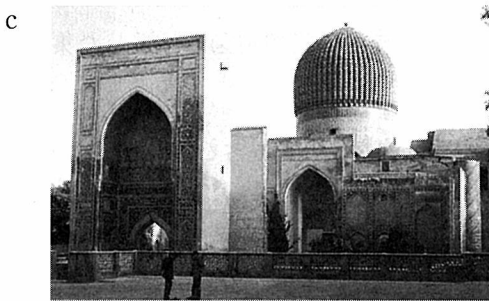
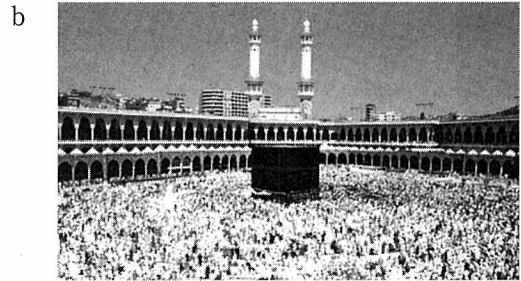
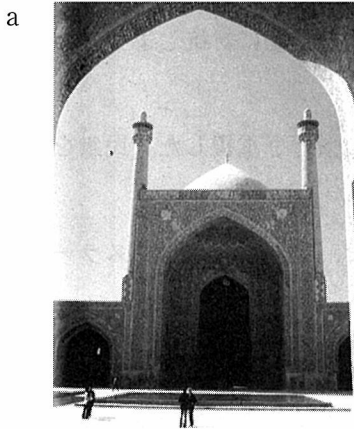
問4 下線部(3)、この時、オスマン帝国の領土(属領も含む)に入っていないのはどこか。選択肢(a～e)から適当なものを1つ選びなさい。

- a ギリシア b シリア c セルビア d ハンガリー
e モロッコ

問5 下線部(4)のアクバルが定めた位階制度で、すべての官僚に序列をつけ、それに応じて騎馬の準備を義務づけたり給与を与えたりした制度を何というか。選択肢(a～e)の中から適当なものを1つ選びなさい。

- a イクター制 b ザミンダール制 c テイマール制
d デウシルメ制 e マンサブダール制

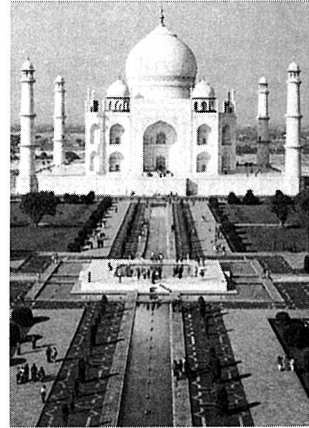
問6 二重下線を付した(5)スレイマン=モスク、(6)イマームのモスク、(7)タージ=マハルは次の写真(a～e)のうちどれか。適当なものをそれぞれ1つずつ選びなさい。



d



e



問7 下線部(4)のアクバルから下線部(8)のアウラングゼーブまでの歴代ムガル皇帝を即位順に正しく並べたものはどれか。選択肢(a～e)の中から適当なものを1つ選びなさい。

- a アクバル, シャー=ジャハーン, ジャハーンギール, アウラングゼーブ
- b アクバル, ジャハーンギール, シャー=ジャハーン, アウラングゼーブ
- c アクバル, シャー=ジャハーン, フマーユーン, アウラングゼーブ
- d アクバル, フマーユーン, シャー=ジャハーン, アウラングゼーブ
- e アクバル, フマーユーン, ジャハーンギール, アウラングゼーブ

問8 下線部(9), シク教の創始者は次のうち誰か。選択肢(a～e)の中から適当なものを1つ選びなさい。

- a アイバク b カビール c シヴァージー d テイラク
- e ナーナク

問9 下線部(10)のイランにおける内乱状態を統一した王朝は何か。選択肢(a～e)の中から適当なものを1つ選びなさい。

- a アフシャール朝 b カージャール朝 c ザンド朝
- d シャイバニ朝 e パフレヴィー朝

2

中国の明、清両王朝500年余の歴史に関する次の問(1～20)に答えなさい。解答は各問の選択肢(a～e)の中から1つずつ選んで答えなさい。問12は2つ選んで答えなさい。なお、正解がない場合にはfをマークしなさい。

問1 この時期の、(イ)初めの世紀、(ロ)終わりの年を次から選びなさい。

- (イ) a 13世紀 b 14世紀 c 15世紀 d 16世紀
e 17世紀
- (ロ) a 1644年 b 1840年 c 1901年 d 1911年
e 1912年

問2 次のうち、明王朝のみの特徴・性格を示すものを選びなさい。

- a 征服王朝 b 皇帝独裁的政治体制
c 漢民族の伝統的制度を復活 d 儒教的政治制度
e 多民族構成の国家

問3 次の皇帝のうちから清の皇帝を選びなさい。

- a 建文帝 b 正統帝 c 万曆帝 d 咸豊帝 e 崇禎帝

問4 次の中から、明代の軍制を選びなさい。

- a 募兵制 b 節度使制 c 衛所制 d 郷勇制 e 八旗制

問5 明では全国の軍を5つの管轄地域に分け、それを皇帝に直属させたが、その5管轄地域の長の名称を次から選びなさい。

- a 都督 b 総督 c 巡察使 d 刺史 e 節度使

問6 清の時期、満州族・蒙古族主体の主力軍を補うために、漢民族で構成された正規軍も編成されたが、その旗の色を次から選びなさい。

- a 紅 b 緑 c 黒 d 白 e 藍

問7 清の中期，太平天国との闘いで，外国人によって指揮された中国人部隊が活躍したが，次からそれに該当するものを選びなさい。

- a 黒旗軍 b 紅軍 c 禁衛軍 d 常勝軍 e 淮軍

問8 日清戦争で敗れた清では，ドイツの軍制を模範に新建陸軍が創設されるが，その責任者となった人物を次から選びなさい。

- a 林則徐 b 袁世凱 c 曾国藩 d 段祺瑞 e 蔣介石

問9 明代，皇帝を補佐する最高の中央行政機関とされたものを次から選びなさい。

- a 宰相 b 按察使 c 巡撫 d 軍機処 e 内閣

問10 清代，問9の機関に替わる新たな軍事行政上の最高機関が創設されるが，それはいつか。

- a 17世紀後半 b 18世紀前半 c 18世紀後半 d 19世紀前半
e 19世紀後半

問11 科挙試験の際，儒学經典の四書，五經などの解釈の基準を定めるため，『四書大全』，『五經大全』などの編纂を命じた皇帝を次から選びなさい。

- a 洪武帝 b 康熙帝 c 光緒帝 d 永楽帝 e 雍正帝

問12 次の人物のうち，科挙に及第して進士にならなかった人物を2人挙げなさい。

- a 張居正 b 徐光啓 c 林則徐 d 洪秀全 e 孫文

問13 科挙廃止の年を次から選びなさい。

- a 1898年 b 1901年 c 1905年 d 1911年 e 1919年

問14 里甲制についての次の説明のうち正しくないものを選びなさい。

- a 洪武帝が制定した。
- b 民戸110戸を1里とし、10戸の農村富裕層を里長戸とし、100戸の一般零細農家を10甲に分け、各甲に甲首戸をおいた。
- c 10年毎に改定される賦役黄冊の作成はその重要な仕事の1つであった。
- d 農村統治のための連帯責任制度の機能を果たした。
- e 里内の民衆教化のために、それぞれの里内から里老人が選ばれた。

問15 賦役黄冊により行われた明初の税制を次から選びなさい。

- a 占田・課田法 b 限田法 c 租佃制 d 兩税法
- e 一条鞭法

問16 中国税制の二本柱というべき土地税・人頭税のうち、人頭税廃止を決定づけた税制が全国で施行されるようになる時期の皇帝を次から選びなさい。

- a 明の成祖 b 明の神宗 c 清の聖祖 d 清の高宗
- e 清の世宗

問17 経済の成熟・繁栄をうけて活躍した「新安商人」の出身地を次から選びなさい。

- a 広東省 b 安徽省 c 江蘇省 d 山西省 e 浙江省

問18 広東十三行に関係する次の説明のうち、正しくないものを選びなさい。

- a 清代に外国貿易を独占した特許商人の組合で公行とも呼ばれた。
- b 1757年以来広東省の省都広州のみが対外貿易港であった。
- c 対外貿易の独占的特許権をもつ組合が13あったところからこの呼称が生まれた。
- d それは1933年の東インド会社の中国貿易独占権廃止により衰退した。
- e それはアヘン戦争の結果、南京条約で廃止された。

問19 1550年北京に迫ったが、同70年頃には明と和して順義王に封ぜられ、青海・チベット方面に勢力を伸ばし、チベット黄帽派仏教に帰依した人物を次から選びなさい。

- a エセン=ハン b ダヤン=ハン c カザン=ハン
d アルタン=ハン e モンケ=ハン

問20 次の中から、清代の藩部に属する地域を選びなさい。

- a 琉球 b ベトナム c 朝鮮 d 台湾 e チベット

3

以下の短文[A・B]を読んで、問(1～19)に答えなさい。

[A] エジプトでは紀元前6000年ごろに農耕が始まり、前(イ)年ごろに統一王朝ができた。それは、季節的におこるナイル川(ロ)の洪水が畑の境界を消したので、強力な支配権のもとで境界石を立て直さなければならなかったからである。このため測量学が発達した。また氾濫や種まきの時期を知るために天文の知識がすすみ、(ハ)の位置をもとに1年の日数を定め、(ニ)暦をつくった。運河や堤防を築き、水車などの機械もつくっている。エジプト人は壮大な建築物もつくった。その代表的なものがピラミッド、スフィンクス、大神殿などの石造建造物である。また、文字関係(ホ)でも特筆すべき貢献があった。その解読に貢献したのは(ト)(ケ)で発見された石碑で、(チ)の手によってであった。

問1 空欄(イ)にもっとも適切なものを以下の選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a 4000 b 3500 c 3000 d 2700 e 2500

問2 下線部(ロ)に関する以下の記述(a～e)のうち、正しいものをすべて選びなさい。

- a ナイル川は例年9月から12月にかけて定期的に増水し、氾濫によって土地の肥沃さが保たれた。
- b ナイル川上流にアスワン＝ハイダムを建設したのは、ナセル大統領で、ソ連の援助で1970年に完成した。
- c ラメス2世の建造になるテル＝エル＝アマルナ遺跡を水没から救ったのは、ユネスコの活動による。
- d ナイル川の源流探検は19世紀後半に盛んになり、英国人リヴィングストンやスタンリーが活躍した。
- e 「エジプトはナイルのたまもの」の名言を残したのは、前5世紀のアテネ人歴史家ヘロドトスだった。

問3 空欄(ハ)にもっとも適切な語句を以下の選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a 南十字星 b 北斗七星 c オシリス d オリオン
- e シリウス

問4 空欄(ニ)にもっとも適切な語句を以下の選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a 太陽 b ユリウス c グレゴリウス d 太陰
- e 太陽太陰

問5 下線部(ホ)に関する以下の記述(a～e)のうち、正しいものをすべて選びなさい。

- a 大ピラミッドの建設が盛んだったのは古王国時代で、今から5000年以上前のことであった。
- b 最大のピラミッドは、ナイル川左岸の首都メンフィスに近いギザにクフ王が建設したものである。
- c スフィンクスの故事は、古代ギリシアの悲劇詩人アリストファネス作「オイディプス」にも登場する。
- d スフィンクスに砲弾を撃ち込んだのは、当時イギリス領のエジプトに遠征したナポレオン軍の仕業だった。
- e 中・新王国の首都テーベは現名ルクソールで、太陽神を祭った大神殿がある。

問6 下線部(ヘ)に関する以下の選択肢(a～e)のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- a エジプト文字解読に貢献した石碑は、神聖文字、神官文字、民用文字の3書体で刻まれた新王国時代のものだった。
- b アメンホテプ4世が遷都した都から出土した大量の外交文書は、粘土板に刻まれた楔形文字だった。
- c 20世紀初頭にシナイ半島で発見された表意文字シナイ文字は、エジプトの象形文字から発達したものだった。
- d 「死者の書」は、死と復活の神アトンの審判にそなえて、死者に副葬されたパピルス文書である。
- e エジプト特産の書紙材パピルス紙は、多年草のカヤツリグサ科を溶解し、すいて製紙したものだった。

問7 空欄(ト)にもっとも適切なものを以下の選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a カイロ b ロゼッタ c アマルナ d メンフィス
e アレクサンドリア

問8 空欄(チ)にもっとも適切なものを以下の選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a エヴァンズ b シュリーマン c ヴェントリス
d シャンポリオン e ローリンソン

[B] 「メソポタミア」は、ティグリス川とユーフラテス川の間の地域^(イ)の意味で、紀元前5000年～4000年頃から開けはじめた。風土的に地形の閉鎖的なエジプトに比べ、この地方は東西の交通路にあたり、沃土をめぐって多くの民族^(ロ)が興亡した。最古の文明の担い手は(ハ)人で、前(ニ)年ごろから、神殿^(ホ)を中心に多くの都市国家^(ヘ)を建設し、また(ト)進法を採用し、青銅器^(チ)、楔形文字を発展させた。しかし、前(リ)世紀に(ヌ)系の(ル)人によって征服された。

問9 下線部(イ)に関する以下の選択肢(a～e)のうち、正しいものをすべて選びなさい。

- a ティグリス川の源流はカフカス山脈で、イラクをほぼ南北に縦断してペルシア湾に注いでいる。
- b ティグリス川の源流はザグロス山脈で、その川筋は現代のイランとイラクの国境線にほぼ沿っていて、両国間の紛争になっている。
- c ユーフラテス川はアナトリア高原を水源とし、シリアを通過し、イラクでティグリス川と合流している。
- d 「メソポタミア」の名称はギリシア語表記で、この地域を「肥沃な三日月地帯」とはじめて呼称したのは、ヘロドトスである。
- e 紀元3世紀半ばに、ローマ皇帝ウァレリアヌスは、ユーフラテス川の東に位置するエデッサでササン朝シャープール1世に敗れた。

問10 下線部(ロ)に関して、古代オリエント時代、この地域で活躍していた民族が使用していた言語の語族を選択肢(a～e)からすべて選びなさい。

- a アフロ＝アジア語族 b インド＝ヨーロッパ語族
- c ウラル語族 d アルタイ語族 e ドラヴィダ語族

問11 空欄(ハ)にもっとも適切なものを以下の選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a シュメール b アッカド c アムル d エラム
- e アラム

問12 空欄(ニ)にもっとも適切なものを以下の選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a 4000 b 3500 c 3000 d 2700 e 2500

問13 下線部(ホ)に関して、神殿を象徴する聖なる塔は、ここではどう呼ばれているか。以下の選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a ジググラト b ミナレット c オベリスク d ストゥーパ
e パゴダ

問14 下線部(ヘ)に関して、ユーフラテス川に面して位置する都市を選択肢(a～e)からすべて選びなさい。

- a ニネヴェ b ウルク c ウル d ラガシュ e スサ

問15 空欄(ト)にもっとも適切なものを以下の選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a 七 b 十 c 二十 d 六十 e 百

問16 下線部(チ)に関する以下の選択肢(a～e)のうち、間違っているものを1つ選びなさい。

- a 青銅は、錫と銅の合金で、錫の量が多くなると赤銅色から黄金色、白銀色となり、硬度は上がるがもろくなる。
b 多くの銅鉱石は錫を同時に含むので、自然に青銅が得られたということがあるにしても、シュメール人の発明とされる。
c 楔形文字は、粘土板に葦の茎や金属の尖端で押しつけるようにして書かれた。
d 楔形文字は、前3500年ごろにシュメール人によって発明され、一般的にはアケメネス朝滅亡まで使用され続けた。
e ベヒストゥーンで発見された碑文は、ダレイオス3世の事績を古代ペルシア語で記したものである。

問17 空欄(リ)にもっとも適切なものを以下の選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a 25 b 24 c 23 d 22 e 21

問18 空欄(ヌ)にもっとも適切なものを以下の選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a アフロ=アジア語族 b インド=ヨーロッパ語族
c ウラル語族 d アルタイ語族 e ドラヴィダ語族

問19 空欄(ル)にもっとも適切なものを以下の選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a シュメール b アッカド c アムル d エラム
e アラム

4 19世紀フランスに関する次の問(1～4)に答えなさい。

図1



問1 図1は「ナポレオンの戴冠式」というタイトルの絵画である。

(1) この絵画を描いたのは次のうち誰か。選択肢(a～d)の中から1つ選びなさい。

a ドラクロワ b ゴヤ c ダヴィド d フラゴナール

(2) 絵画で○で示された人物(ア)は皇后、(イ)は教皇だが、それぞれ名前を以下の選択肢(a～d)の中から1つずつ選びなさい。

(ア) a エリザベート b マリ＝ルイーズ c ジョゼフィーヌ
d スタール

(イ) a レオ12世 b ピウス8世 c レオ10世
d ピウス7世

(3) ここでナポレオンが戴く冠は、かつて教皇レオ3世により戴冠されたある皇帝のものとされていた。これは、地方豪族出身のナポレオンの権威を高めるためにそう喧伝されたのだが、このある皇帝とは誰か。次の選択肢(a～d)の中から1つ選びなさい。

a オットー1世 b カール大帝 c ユスティニアヌス帝
d ハインリヒ4世

(4) この戴冠式の3年余り前にナポレオンが結んだものはどれか。正しい答えを次の選択肢(a～d)の中から1つ選びなさい。

a 教皇との間で宗教協約
b オーストリアとの間でカンポ・フォルミオの和約
c プロイセン、ロシアとの間でティルジット条約
d イギリスとの間でアミアンの和約

(5) 戴冠式と同じ年にナポレオンが行ったことを以下の選択肢(a～d)の中から1つ選びなさい。

- a ライン同盟の結成 b 民法典の公布 c 大陸封鎖令の発布
d アウステルリッツの戦い

(6) ナポレオン軍を撃退したハイチは独立を宣言するが、独立の前年に獄死したハイチ独立運動の指導者を次の選択肢(a～d)の中から1つ選びなさい。

- a シモン＝ボリバル b トゥサン＝ルヴェルチュール
c アブドゥル＝カーディル d サン＝マルティン

図2



問2 図2は「7月の英雄」というタイトルの風刺画である。質屋の証文を貼り合わせたコートを羽織り、貧窮の極みにある民衆の1人が、「最後の財産」と書かれた石を重しとして首に結びつけ、今まさに橋の欄干からセーヌ川に身を投げようとしている。この風刺画について以下の各問(1～5)に答えなさい。

(1) ここでいう「7月」とは、何年の7月を指しているのか。次の選択肢(a～d)の中から1つ選びなさい。

a 1830年 b 1848年 c 1851年 d 1870年

(2) この風刺画は、このような民衆たちが原動力となった革命運動の結果、権力の座についたある指導者への強烈な批判を表現している。この指導者は誰か。次の選択肢(a～d)の中から1つ選びなさい。

a ルイ=フィリップ b ナポレオン3世 c ルイ18世
d シャルル10世

(3) この風刺画の作者で、革命と共和主義を支持し、民衆の側に立った告発の作品を多く残した画家は誰か。次の選択肢(a～d)の中から1つ選びなさい。

- a セザンヌ b ゴッガン c ドーミエ d ミレー

(4) ここで示唆される革命運動のあった年、フランスは北アフリカに上陸し、以降その地域を植民地化する。このときフランスの侵略を受けた国は次のうちどれか。選択肢(a～d)の中から1つ選びなさい。

- a チュニジア b エジプト c アルジェリア d モロッコ

(5) この革命運動の結果生まれた体制が続いた時期にあてはまらない事件は次のうちどれか。選択肢(a～d)の中から1つ選びなさい。

- a チャーティストによる人民憲章の作成 b 穀物法の廃止
c 航海法の廃止 d ホイッグ党による第一回選挙法改正

問3 ナポレオン3世の第二帝政期について次の各問(1～6)に答えなさい。

(1) パリ都市改造を実質的に主導した人物は次のうち誰か。選択肢(a～d)の中から1つ選びなさい。

- a レセップス b ギゾー c サン＝シモン d オスマン

(2) パリ改造を命じたナポレオン3世は、国威発揚や産業育成の意図もあって、数多くの戦争を行った。次のうち、戦争が開始された順番で正しいものはどれか。選択肢(a～d)の中から1つ選びなさい。

- a クリミア戦争 — アロー戦争 — インドシナ出兵 — メキシコ出兵
b クリミア戦争 — インドシナ出兵 — アロー戦争 — メキシコ出兵
c メキシコ出兵 — クリミア戦争 — アロー戦争 — インドシナ出兵
d アロー戦争 — クリミア戦争 — インドシナ出兵 — メキシコ出兵

(3) ナポレオン3世の国内政策のうち、国威発揚や産業育成を目的になされたもので、もっとも適切なものはどれか。次の選択肢(a～d)の中から1つ選びなさい。

- a 運河整備 b パリ万国博覧会開催 c 国立作業場設置
- d 7月14日を国民祝祭日と制定

(4) 次のうち第二帝政期にあてはまらない出来事を選択肢(a～d)の中から1つ選びなさい。

- a 第一回ロンドン万国博覧会の開催
- b プロンビエール密約の締結
- c オーストリア＝ハンガリー二重帝国の成立
- d アレクサンドル2世による農奴解放令

(5) 1871年3月、パリ＝コミューンが宣言された理由としてもっとも適切なものを次の選択肢(a～d)の中から1つ選びなさい。

- a パリ大改造への批判 b 対ドイツ講和の条件に対する批判
- c メキシコ出兵への批判
- d 北アフリカ、東南アジアでの植民地拡張への批判

(6) 第二帝政期は、のちの仏領インドシナの基盤を築いた時期でもあったが、次のうち仏領インドシナ連邦に属さない国・地域を選択肢(a～d)の中から1つ選びなさい。

- a アンナン b ミャンマー(ビルマ) c コーチシナ
- d ラオス

問4 19世紀フランスにおける文化の諸相に関する次の各問(1～6)に答えなさい。

(1) 写実主義文学の代表的な作家バルザックの作品として正しいものを次の選択肢(a～d)の中から1つ選びなさい。

- a 『女の一生』 b 『ボヴァリー夫人』 c 『居酒屋』
d 『人間喜劇』

(2) 19世紀後半から主に文学や絵画において、写実主義をさらに強調し、現実社会や人間を直視し、その矛盾を追及し、人間の俗悪な部分をも描こうとした文化傾向・運動が見られるが、これを何と呼ぶか。次の選択肢(a～d)の中から1つ選びなさい。

- a 耽美主義 b 自然主義 c 象徴主義 d ロマン主義

(3) 1894年に起きたドイツによるスパイ容疑を発端とするドレフュス事件は、ユダヤ人差別や共和主義など様々な問題が絡む世紀末フランスの重要な事件だが、このとき『私は弾劾する』と題した抗議文を公表し、軍部の腐敗と不正を世論に訴えた作家を次の選択肢(a～d)の中から1つ選びなさい。

- a ボードレール b スタンダール c モーパッサン
d ゾラ

(4) フランス絵画における印象派の創始者とされ、代表作『笛を吹く少年』などで有名な画家を次の選択肢(a～d)の中から1つ選びなさい。

- a モネ b ルノワール c マネ d セザンヌ

(5) フランス音楽における印象派の代表的作曲家で、ピアノ組曲『映像』などで知られるのは次のうち誰か。選択肢(a～d)の中から1つ選びなさい。

- a ベルリオーズ b ラヴェル c サン＝サーンス
d ドビュッシー

(6) 実証主義を確立したコントは、ある学問領域の創始者とも言われるが、この学問領域を次の選択肢(a～d)の中から1つ選びなさい。

- a 歴史学 b 社会学 c 経済学 d 心理学

